区のマーク

みなみ

保健福祉センターだよりは月1回、15日号に掲載

区の広報担当キャラクター「ため蔵」くん

区役所代表電話 ☎561-2131
〒815-8501 南区塩原三丁目25-1
窓口受付時間：午前８時45分～午後５時15分（土日・祝休日・年末年始を除く）
区ホームページへのアクセスは下記コードから

人口 263,176人（+140）男122,215人女140,961人
世帯数 127,778世帯（+158）令和元年６月１日現在推計（前月比）

期＝日時、開催日、期間　所＝場所　問＝問い合わせ　F＝ファクス　対＝対象　定＝定員　料＝料金、費用　持＝持参　託＝託児　申＝申し込み　✉＝メール　HP＝ホームページ

地域の防災意識を高めよう 市民総合防災訓練

区は、住民の皆さんに防災意識を高めてもらおうと、市民総合防災訓練を実施しています。今年は長住校区で行われ、約４００人が各種訓練を体験しました。

より実践的な避難所運営訓練

訓練は5月19日に長住小学校で実施されました。煙が充満した通路を煙を吸わないように身をかがめて通る体験や、AED（自動体外式除細動器）を使った救急救命訓練などが行われました。

体育館では、地域住民が避難所運営訓練に取り組み、間仕切りや段ボールベッドの作成、食料などの物資の仕分けを行いました。物資の到着時刻は事前に知らされておらず、訓練途中に物資が届くなど、より実践に近い訓練が行われました。物資の仕分けを担当した松田賢さん（52）は「事前に役割分担をしておくことで混乱せずに対応できました」と話しました。

福岡市初の災害FM試験放送

訓練では災害FMの試験放送が市で初めて行われました。災害時に安否情報や水・電気の供給状況等を行政や住民が発信するもので、長丘中学校放送部の生徒が会場の状況を伝えました。担当した千代森さくらさんは「正確に情報を伝えるため、重要な部分は声のトーンを変えて強調しました」と力強く語りました。

長住校区自治協議会会長代行の八坂健さん（72）は「住民同士が顔見知りだと避難所運営も円滑に進みます。今日の訓練は外国人も含め、住民みんなで協力して取り組み、とても有意義でした」と訓練を振り返りました。

【問い合わせ先】区総務課 ☎559・5063 F561・2130

住民主体の避難所運営訓練

日頃から水害への備えを

大雨による河川の氾濫や土砂災害などの際に安全に避難するには次のことが重要です。

●避難所・避難経路の事前確認

区総務課などで配布している「市浸水ハザード・防災マップ」で避難所を確認し、実際に歩いて安全な経路を調べましょう（地域で避難経路を指定している場合もあります）。※マップは市ホームページ（「福岡市防災マップ」で検索）でもダウンロード可能です。

●非常用持ち出し袋の準備

避難生活に必要な物を備えておきましょう。各自の事情に応じ、アレルギー対応食品や携帯トイレ、スマホのバッテリーなどの準備を。

●避難の際に注意すること

テレビや防災メールなどの情報に注意し、早めの避難を心掛けてください。避難所の開設状況は区総務課にお問い合わせください。

問区総務課 ☎559-5063 F561-2130

7/1～ 南区子育て情報マップ配布

保育園・幼稚園や病院、公園、子育てサロンなど子育てに役立つ情報を地図上に表示した令和元年度版「南区子育て情報マップ」を７月１日㈪から配布します 。表面には区全体の情報を、裏面には中学校区ごとに詳しい情報を掲載。配布場所は、区子育て支援課、市役所1階情報プラザなど。区ホームページ（「福岡市南区子育て情報マップ」で検索）からもダウンロードできます。詳しくはお問い合わせを。問区子育て支援課 ☎559-5195 F559-5149

南市民プールの屋外プール開場

完全にオムツが取れた幼児～小学校低学年向けプールです。幼児は、水着を着た18歳以上の保護者の付き添いが必要（保護者１人につき２人まで可）。期７月13日㈯～15日㈪・祝、７月20日㈯～８月26日㈪。午前９時～午後６時所問同プール ☎561-6011 F561-3993料プール使用料（幼児無料）

7/26㈮ 生後１～３カ月新米ママのための親子セミナー

初めて子育てをするお母さんを対象にふれあい遊びやミニ講話を行います。期午後１時半～３時半所区保健福祉センター講堂問区地域保健福祉課 ☎559-5133 F512-8811対区内に住む2019年４・５月生まれの第１子と母親定先着20組料無料持母子健康手帳、バスタオル、その他赤ちゃんに必要なもの申７月２日㈫午前９時半以降に電話で同課へ。

8/3㈯ 親子陶芸体験会

陶芸を通して、ものづくりの楽しさを体験しませんか。期午後１～３時所問市立老人福祉センター若久園（若久六丁目29-1）☎511-7255 F511-7558対市内に住む小学４～６年生と保護者定先着８組料１作品につき500円持エプロン申７月９日㈫午前９時以降に同園へ電話か来所して申し込みを（７月15日㈪・祝、16日㈫、22日㈪を除く）。

自分だけのお皿作り

8/6㈫～ 運動からはじめる 65歳からの認知症予防教室

認知症予防に効果的な有酸素運動や食事の仕方などを学びませんか。運動を行うため、通院中の人は参加が可能か事前に主治医に確認してください。期８月６日～９月10日の毎週火曜日（８月13日を除く）。全５回。午前９時半～11時半所区保健福祉センター講堂問区地域保健福祉課 ☎559-5133 F512-8811対現在介護保険サービスを利用していない区内に住む65歳以上で、全日程に参加でき、教室修了後は自主グループなどで運動を継続していきたい人定抽選20人料無料持運動できる服装・靴、水分補給用の飲み物申７月19日㈮午後５時までに電話かファクスに**本紙15面の応募事項**を書いて同課へお申し込みください。

つながる思い、ひろがる笑顔

医療・介護等事業所ネットワーク活動紹介 －第３回－

「東花畑お互いサマーズ11（イレブン）」は校区内の10事業所が連携し昨年12月に立ち上がりました。校区の事業所が地域と協力して、昨年９月に公民館で在宅医療の講演や福祉用具体験などを行った「ふくしまつり」が結成のきっかけです。主な活動は、隔年開催のふくしまつり、地域カフェでの相談コーナーの開設、高齢者会食会の送迎などです。

５月29日に公民館で行われた地域カフェには３人のスタッフが参加し、介護に関する相談に応じる「介護なんでも相談」を行いました（**写真**）。

代表の佐原幹弥さん（39）は「一つ一つの事業所は小さくても、連携することでさまざまな支援を行えます。皆さんがこれからも住み慣れた地域で安心して生活できるように活動していきたいです」と話しました。

【問い合わせ先】区地域保健福祉課 ☎559・5134 F512・8811